　緊急リレートーク開催 「ブラック・ライブズ・マター運動の背景と課題」

米国から世界に拡大したブラック・ライブズ・マター運動は、その規模と社会的 インパクトの点で60年前の公民権運動に匹敵すると言われており、人種問題の解決 に向けて重要かつ新しい局面をもたらしつつある。日本のメディアでも連日取り上げられてはいるが、残念ながら専門的知識に基づく報道や評論は乏しく、最近のNHK番組のように黒人に対する偏見を露呈し、差別を助長するものさえある。 本リレートークは、アフリカ系アメリカ人研究や日本社会における黒人表象の研 究、人種研究などに長年携わっている研究者が中心となり、それぞれの視点から、 「ブラック・ライブズ・マター運動の背景と課題」についての解説と問題提起を行うものである。米国での黒人差別の歴史や現代の人種間格差、ブラック・ライブ ズ・マターの思想と実践、さらには日本社会における黒人に対する偏見・差別の歴 史や現実が語られるであろう。リレートークの後は、会場からチャットで可能な限り質問を受け付け、意見交換も行う。 人種差別は、現代を生きるあらゆる人間が向き合うべき課題だとする見地に立ち、多様化する社会をいかに生き、行動すべきか、そのヒントをともに探りたい。

★日時:2020年6月21日(日)15:00-16:30(閉会)17:00(閉室)

★使用アプリ: Zoom

★使用言語:日本語

★対象:一般

★参加費:無料 (事前登録をお願いします。登録方法は下記の通り

Zoomウェビナー事前登録フォーム 開催時刻：2020年6月21日（日） 15:00-16:30 大阪、札幌、東京 トピック：緊急リレー・トーク：ブラック・ライブズ・マター運動の背景と課題

このウェビナーに事前登録する： https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN\_Z6nDySh0TOCPnH8TROiY3w ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。

☆司会:  
竹沢泰子(京都大学)

☆パネリスト: 貴堂嘉之(一橋大学)、坂下史子(立命館大学)、藤永康政(日本女子大学)、 ジョン・G・ラッセル(岐阜大学)

☆コメンテーター:  
有光道生(慶應義塾大学)

キンバリー・サンダース(ハーヴァード大学大学院博士課程・早稲田大学研究員)-

主催: 京都大学人文科学研究所 <http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>

　　　慶應義塾アメリカ学会 <https://keioamsa.wixsite.com/mysite>